

がっこう
学校あんぜん

1・2年



ほん この本の つかいかた



1・2年生のみなさんへ

この本を よく よんで、こうつうじこ、ゆうかい、じしん
や かざんの ふんかなどの ひがいに あわないように し
ましょう。

- 1 学校へ 行く時や 帰る時は、どんなことに 気をつけ
たら よいでしょうか。
- 2 家に 帰ってから 外で あそぶ時や どこかへ 行く
時には、どんなことに 気をつけたら よいでしょうか。
- 3 学校や 家にいる時に しぜんさいがいなどが おこった
ら どうしたら よいでしょうか。
- 4 この本を おうちのひとと いっしょに よんで きけん
なことから じぶんを まもるために どうしたらよいか
話し合ひましょう。

ご家庭の皆さんへ

この本は、北海道の未来を担う子どもたちを、事件・事故災害の被害から守り、健康で安全に成長することを願って作成したものです。

- 1 学校で学んだことを話題にして、家庭でも安全な行動の仕方などについて指導いただき、子どもたちに安全な態度や行動が身に付くようにしてください。
- 2 本文中（裏表紙）の指導のねらいについて、わかりやすく説明してください。
- 3 家のまわりなど、それぞれの地域の実情に合わせた具体的な指導をしてください。

1 交通あんぜん

(1) 学校へ 行く時 帰る時の あんぜん

① 学校へ 行く時 帰る時の きまりについて 考えてみましょう。



◆ どんな きまりが ありますか。

◆ しんごうに 色を ぬりましょう。

すすめ	ちゅうい	とまれ

② 学校へ 行く時 帰る時に よく見かける 交通ひょうしきです。
どんな いみか わかりますか。

ア



イ



③ 学校へ 行くまでの 通学ろで 気を つける 場しょが あったら
書きましょう。

(2) 雨の日の みじたくと 歩き方

雨の日は、遠く まで 見通す ことが できなかったり、道も すべりやすく なったり するので、気をつけましょう。

- ① うんてん手さん から 見た みんなの すがたです。
気づいたことを書きましょう。



- ② 雨の日には どのようなことに 気をつけて 歩きますか。

○ かさの はかは 手にものをもたない。
○ ぼたんを きちんと かける。



○ 足に あった くつをはく。
○ よく めだつ 色のものを 身につける。

雨の日には、どのような
ことに気をつけて歩きま
すか。

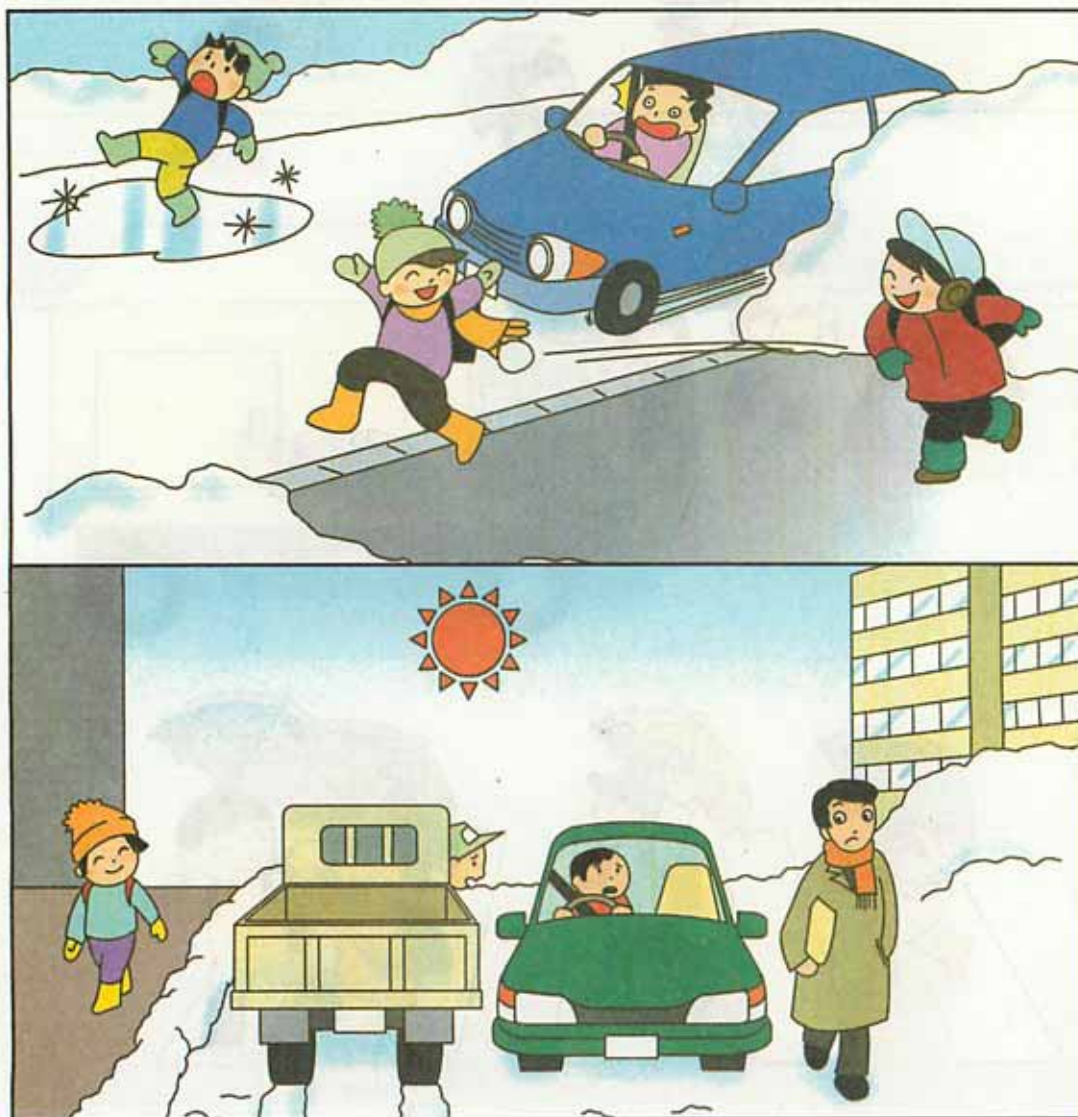
③ 下の絵を 見て、気をつけなければ ならないことを 話し合いましょ
う。



話し合ったこと

(3) 雪の日の あんぜん

- ① 冬の道を歩く時には、どんなことに気を付けたらよいでしょうか。絵を見て、みんなで話し合いましょう。



話合ったこと

- ② 冬の 外あそびで 気をつけなければ ならないことを みんなで
話し合ひましょう。



《ご家庭の皆さんへ》

家の近くの道路や遊び場で危険な箇所があったら、下
に書いてください。また、そこには、お子さんを近付けないよう
にしてください。

(4) あぶない あそびと とびだし

① このあと、どんなきけんなことがおこるか ^{かんが} 考えてみましょう。







あなたは、走って いる時、 きゆうに 止ま
ることが出来ますか。車は はやく 走って
いるので、ブレーキを かけても なかなか 止
まれません。道ろへの とびだしは、やめましょう。

② 下の絵を見て、あぶないと気づいたことを書きましょう。

ア



イ



ウ



エ



(5) しんごうの 見方とおうだん歩道の わたりかた

① 絵を見て、ひでおくんと たかこさんの わたりかたを 話し合いましょ。

ア



イ



ウ



② 下の しんごうきで、わたって いけないのは 何番と何番ですか。

○ 番 と ○ 番
人がた の しんごうき

1



2



3



黄色のしんごうや、人がたのしんごうで青がついたり、きえたりしたら、「わたりはじめてはいけない」という合図です。

もし、おうだん歩道のと中でチカチカしたら、いそいでわたるか、引きかえして、つぎの青まで まちましょ。

(6) ふみ切りの わたり方

みぎ
右はして、
一歩
さがって、
まちましょう。



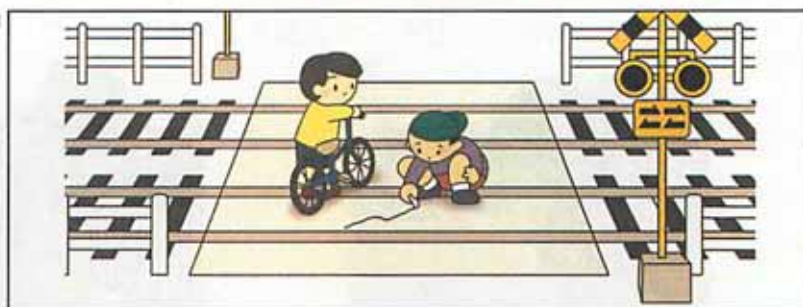
すれちがう
くるま
車に、ちゅう
いしましょう。



しゃだんきの
ない ふみき
りでは、すれ
ちがう 列車
に、気をつけ
ましょう。



ふみきりや
せんろの
ちかくで、
あそぶのは
やめましょう



ふみ切りの わたりかたで、気を つける ことを、書きましょう。

2 生活あんぜん

(1) 学校の行き帰りのあんぜん

近ごろ、子どもが あぶない目にあうことがふえています。
みなさんの家のまわりや学校の行き帰りの道にきけんな場しょ
はないか、いっしょに考えてみましょう。

① どんなところが あぶないのかな？ ○をつけてみましょう。



()



()



()

◆ あぶないと思ったのは、なぜですか？

② みんなだったら どちらの公園であそびますか？



◆ 理由を 話し合ってみましょう。

③ 町には、みんなをまもってくれる場しょが たくさんあります。



● ちいきによって、「こどもをまもる家」や「サポートハウス」など とよんでいるところもあります。



◆ みんなの町では、どんなよびかたをしていますか？

◆ つかい方のきまりはあるのかな？

④ こんなところも みんなをまもってくれます。



◆ ほかにも みんなを まもってくれる場しょはないでしょうか？

《ご家庭の皆さんへ》

子どもの遊び場や自宅周辺にある緊急避難場所を、お子さんと一緒に確認しておきましょう。

(例) 病院、飲食店、銀行、スーパー、ガソリンスタンド、など

(2) あんぜんマップって なんだろう？

みなさんが毎日、学校に通っている道に、あぶない目や こわい目にあいそうなところは ありませんか？

学校のまわりの きけんなところについて まとめたのが、「あんぜんマップ」です。

- ① 学校のまわりの 地図に、あぶないと 思ったところの しるしをつけてみましょう。

〔あき家のある場しよ〕



〔マンションなどのエレベーター〕



〔歩道きょうの上〕



〔地下道の中〕



- 「見えにくいところ」や「入りやすいところ」、「だれにも見つけてもらえないところ」をさがしてみましょう！
- 「あんぜんマップ」が できている学校は、おにいさんや おねえさんに、つかい方を教えてもらいましょう。

② こんなところにも、^き気をつけてね。

まわりは、はたけで、
^{ひろ}広い道です。



近くには家が少なく、
たすけをよぶことがで
きません。

車の数も少なめです。

ガードレールがありま
せん。

◆ 学校の行き帰りの ^{ちやうど}と中に、こんな道ろは ^{ないか}ないか、しらべてみましょう。

ふだんは、とてもにぎ
やかな ^{しょう}店がい
です。



夕方になると人かげも
^{すく}少なくなります。

ふしんな車が止まって
いる場合もあります。

シャッターを下ろして
いるお店もあります。

◆ 時間によって、あぶない場しよに ^{かわ}かわってしまうようなところはないか、しらべてみましょう。

- 「ふしんしゃ」といっても、見ただけではよくわから
ないことが、^{おほい}多いのです。とてもやさしそうに「子ねこ
を見せてあげようか。」「おもちゃをあげるよ」「なに
か 食べにいこう」などといって声をかけたり「お母さ
んが よんでいるよ」「お母さんが ^{ここ}じこにあったよ。
びょういんに行こう」など ^いうそを言ってたまそうと
することも あります。



(3) こんな時は、どうしたらいいでしょう

みなさんの周りには、あん心やあんぜんを うばってしまう
かもしれないことが たくさんあります。こんな時、みなさんな
ら どのようにしますか？ かんがえてみましょう。

◆ 「かわいいでしょ。家
にきたら もっとかわいい
のが いっぱいあるよ。いっ
しょにおいで。」

◆ 長いコートをきたおじ
さんが 話しかけてきたよ。
「いいものを見せてあげる。
こっちへおいで」

◆ 「〇〇さんのお家をさ
がしているんだけど、知
らない？ はじめて この
へんをとったので いっ
しょにさがしてくれない？」

- あぶない目に あわないために、ふだんから
つぎのようなことを 心がけておきましょう。
- ☆ 外に行くときは、かならず 行き先をいう。
- ☆ 一人であそばない。
- ☆ 声をかけられても、ついていかない。
- ☆ あぶないと かんじた時には、大きな声をだ
して にげる。
- ☆ 今日 あったことを かならず、家の人に話す。

《ご家庭の皆さんへ》

お子さんが、それぞれの場面でどんな答え方をしているのか、ご覧になって気になることや伝えたいことがあれば、一緒に話し合ってみてください。



◆ 知らないおじさんから「きゅうにおなかがいたくなっちゃった。ちかくにトイレはないかい？」と声をかけられたよ。

◆ さらに、そのおじさんに「場所がわからないからトイレまでいっしょについてきて」といわれたよ。

◆ ほかに どんなことばを かけられたことがありますか？ その時は、どのように 対応しましたか？



(4) こんな時 どんないくどうを したらいいでしょう

A子ちゃんが こうえんにあそびに きています。すべりだいや
ブランコで あそんだあと、のどがかわいたので ベンチで休ん
でいました。そこへ 知らないおじさんが 近づいてきて話しか
けてきました。やさしそうなおじさんが…

今日は とてもあつい日だから おじさんも のどがからからだよ。
アイスクリームを いっしょに食べよう。ごちそうしてあげるよ。
これから 買いに行くところだから いっしょに行こう！



アイスクリーム
をいっしょに買
いに行こう。



おじさんが
ごちそうす
るよ。



わーい、やったあ。
おじさんありがとう。
わたしも食べたい。



知らない人
についていっ
ちゃあだめ
だよ。

だいじょうぶ
だよ 近じょ
だから。

どうしようかな。やさしそうな
おじさんだし。だいじょうぶだ
よね、きっと。お店やさんに行
くんだし…。





A子ちゃんは どうしたのでしょうか？ もし あなただったら、
①と②の どちらのへんじを しますか？



※どのように ことわったらいいのか、お家のひと いっしょに 考えてみましょう。



- 子どもを だまして つれだすために、いろいろなことばを かけてきた時には、つぎのことが大じです。
- ☆ きっぱりとことわる。
- ☆ しつこく話しかけられたら、その場から はなれる。
- ☆ 近くの 友だちに 声をかける。

合言葉は『いかのおすし』
約束守って、気をつけようね！

必ず、行き先を言う！
ついて

いか **ない**
知らない人にはついていかない。
あぶないところにいかない。

の **らない**
知らない人の誘いにのらない。
知らない人の車にのらない。

お **おごえをだす**
危ないと感じた時は
大きな声で「助けて!」と叫ぶ。

す **ぐ逃げる**
こわかったら大人の方に
すぐ逃げる

どんな人が何をしたが、
周りの大人に知らせる
し **らせる**

北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり推進会議

(5) もしも 学校に ふしんしゃが 入ってきたら

学校は 先生のほかにも、いろいろな人が はたらいています。
たくさんの人が たずねてきて、みなさんの生活や学習をささえるための 大切なしごとを してくれています。

学校では、校しゃ内に ふしんしゃが入らないように ちゅういをしています、とつぜん あらわれることもあります。そんな時は どうしたらいいのでしょうか。みなさんが まもらなければならないことは どのようなことでしょう。

- ① とつぜん ふしんしゃが 教室に入ってきたら、みなさんなら どうしますか？



◆ まず、ふしんしゃから できるだけ遠くにはなれることが大切です。

ほかには、どんなことができるかな？
先生といっしょに 考えてみましょう。

- ② 先生いがいの 大人の人に、学校の中で であった時、みなさんなら どうしますか？

◆ ふくそう（名ふだ）や もちものを たしかめます。



◆ ちょっと おかしいなと 思ったときは、どうしたらいいでしょう。みんなで 話し合ってみましょう。

- ③ 学校に ふしんしゃが入ってきたら、ひじょうベルがなったり ほうそうが入ります。 そんな時は、どうしますか？ 正しいと 思うものに○をつけてみましょう。

()



()



()



()



- ◆ きんきゅうのほうそうや れんらくを 聞くときの きまりについて、先生と いっしょに考えてみましょう。



- 学校に たずねてきた おきゃくさんには、元気よく あいさつするよね。

でも、あいさつしても、へんじをしてくれなかったり、名ふだを つけていなかったりする場合など、ちょっとでもへんだなと思ったら、すぐに先生に 知らせることが大切です。

(6) 校^{こう}しゃ^{ない}内の き^けん^な場^ばし^ょを さ^がそ^う

- ① ろ^ろう^か下の ま^まが^がり^りか^かど^どでは ど^どんな^{んな}こ^こに き^きをつ^つけ^けた^たら^らい^いで^でし^しょう^う。



◆ ろ^ろう^か下の ま^まが^がり^りか^かど^どでは、ど^どんな^{んな}こ^こに き^きをつ^つけ^けると あ^あん^んぜ^ぜん^んに^にな^なる^るで^でし^しょう^うか。

- ② よ^よく^く見^みると、ろ^ろう^かか^かには き^きけ^けん^んな^なの^のが い^いろ^ろい^いろ^ろあ^あり^りま^ます^す。



◆ ろ^ろう^か下^{ひら}は^は広^{ひろ}く^くて^てつ^つい^い は^はし^しり^りた^たく^くな^なる^るも^もの^ので^です^すが、ど^どんな^{んな}こ^こに き^きをつ^つけ^けると よ^よい^いで^でし^しょう^うか。

- ③ か^かい^いだ^だん^んでは、ど^どの^のよ^よう^うに^にす^する^ると あ^あん^んぜ^ぜん^んで^でし^しょう^う。



◆ か^かい^いだ^だん^んの ま^まが^がり^りか^かど^どは、さ^さき^きが^がみ^みえ^えま^ません^んね。ど^どの^のよ^よう^うに つ^つか^かう^うと^とい^いい^いで^でし^しょう^う。み^みん^んな^なで 話^はし^し合^あっ^って^てみ^みま^まし^しょう^う。

④ きゅう食室の近くにも あぶないところがある！



- ◆ きゅう食室の近くには きゅう食をはこぶエレベーターもあります。どうして あぶないのかな？

⑤ 体いくかんで けがが多いのは なぜでしょう。



- ◆ 体いくかんには、みなさんが あそぶための 道ぐも たくさんあります。あんな 安全な あそびかたや後かたづけのし方について、考えてみましょう。



- みなさんが いつも生活している場しよをつかって、どんなふうに 行どうするとあんなか、何回かくりかえして、れんしゅうしてみましょう。
- とくに、は や 目など、顔のけがに ちゅういしましょう。

3 さいがいあんぜん

(1) 地しんの きけんと あんぜんかくにん

へいせい 16 年 11 月には、にいがたけんで 大きな地しんがあり、
多くのたてものが こわれました。北かい道でも 地しんは多く
おきます。

地しんは、いつ、どこでおこるか わからないので、日ごろか
ら 地しんについての 学しゅうを とおして じゅんぴとくん
れんをしておきましょう。

① 教室にいる時 地しんがおきたら



◆ 地しんが おきたら どのように 行どうすれ
ばよいか 話し合ひましょう。

② 先生のお話を聞き、れんしゅうを してみましょう。

○ ちゅういすること

- ・つくえの下へもぐって つくえの足を もとう (頭と体をまもろう)
- ・あわてて 外へ出ない
- ・ドアをあけよう
- ・火を消そう
- ・ゆれがおさまったら、先生のしじで ひなんしよう

③ 音楽室など とくべつ教室にいる時に 地しんがおきたら



◆ とくに、気をつけることを 話し合ひましょう。

④ 学校の行き帰りに 地しんがおきたら



◆ 学校の行き帰りに もし 地しんがおこったら
どうすればよいか 話し合しましょう。

⑤ 通学路で 地しんの時 きけんなどところがないか しらべましょう。

○ きけんなどところを 書きましょう。

⑥ ひなんくんれんで ちゅういすることは



◆ 地しんの ひなんくんれんで ちゅういするこ
とを 話し合しましょう。

ひなんくんれんで ちゅういすること

- ① お さない
- ② か けない
- ③ し やべらない
- ④ も どらない

⑦ 家にいる時 地しんがおきたら どうし
たらよいか お家の人と 話し合しましょ
う。

ひなん場しよ	
れんらく先	

(2) 火山の きけんと あんぜんかくにん

火山がふん火したら

わたしたちの すんでいる 北かい道には、ふん火するかもしれない山が たくさんあります。火山がふん火すると とってもあぶないことがあります。ふん火から いのちをまもる べんきょうをしましょう。

① ふん火って なあに？

火山からマグマがでてきたり、ガスがでてきたりすることを「ふん火した」といいます。

② ふん火したら どうなるの？

火山が ふん火すると たくさんの火山ばいが ふります。火山ばいがふると ひるなのに、よるのように まっくらになってしまいます。



ふん火したら 大きな石が とび出すこともあります。

じどう車くらの 大きな石が とんでくることもあります。

1 ばんおそろしいものに、火さいりゅう・火さいサージというものがあります。

火さいりゅう・火さいサージは、おんどが^{たか}くて 人が^{ひと}まきこまれると やけしんでしまいます。

じどう車^{しや}よりも はやいスピードで 山^{やま}を くだってきます。



③ ふん火^{ふんか}がおきたら どのように にげるの？

火山^{かざん}がふん火^{ふんか}すると たいへんです。さあ、どのように にげればいいのか 考えてみましょう。

ア どこに にげれば いいのかな？

お家^{うち}の人^{ひと}と にげるばしょを ^{はな}話し合^あいましょう。
^{はな}話し合^あったことを ^か書きましよう。

イ だれと にげれば いいのかな？

もし お家^{うち}の人^{ひと}がいないときに ふん火^{ふんか}したら、だれとにげるのか ^{はな}話し合^あいましょう。話し合^あったことを ^か書きましよう。

ウ 何^{なに}をもって にげれば いいのかな？

火山^{かざん}がふん火^{ふんか}すると長い間^{ながあいだ} ひなんしなければなりません。何^{なに}をもってひなんするか、考えて書きましよう。



●火山^{かざん}が ふんかしたら どんなことが おこるのか わかりましたか。

●だれと どこに ^{なに}何^{なに}をもってひなんするのか ^{はな}話し合^あったり ^{かんが}考えたりすることができましたか。

(3) 火さいの きけんと あんぜんかくにん

わたしたちの 生活では 火はひつようですが、とりあつかい方をまちがえると、やけどをしたり、火さいの げんいんになることがあります。

火さいから 大じな いのちを まもるべん強を しておきましょう。

① 火さいがおきたら、あなたなら どうしますか。

◆ どのように こうどうしたらよいか、みんなで話しあいましょう。



○ 話し合ったことを 書いてみましょう。

○ ちゅういすること

- ・どんな小さな火でも、ひとりで消そうとしないようにしましょう。
- ・友だちといっしょでも、かならず大人に 知らせましょう。
- ・大声で ちかくの人に 知らせましょう。
- ・声がでなかったら、なべのように おとのでるものをたたいて 少しでも 早く 知らせましょう。



● がっこうの かさい ひなんくんれんの 時にちゅういすることは、

お か し も だよ。

どんな いみだったか おぼえていますか？

② すぐ にげよう！ ひなんのコツ！

ア 早く にげよう。

◆ 早く にげるためには、どうしたら いいでしょうか。



○ 考えたことを 書いてみましょう。

イ 一気に 走りぬけよう。

◆ ほのおの中は 一気に 走りぬけましょう。できたら 頭から 水をかぶるか、ぬれた シーツをかぶってにげたほうが あんぜんだといわれています。なぜでしょうか。



○ 考えたことを 書いてみましょう。

ウ けむりの中は しせいを ひくくしよう。

◆ けむりの中は しせいを ひくくして にげましょう。けむりを すわないようにするためには、どうしたら よいでしょうか。



○ 考えたことを 書いてみましょう。

(4) 風水がいの きけんと あんぜんかくにん

北かい道にも たいふうが 上りくし 大きな ひがいを
あたえることがあります。

ひがいに あわないためには、風水がいの きけんについて
学しゅうし、じゅんびと くんれんを しておきましょう。

① どう下校の時に 雨や風が 強かったら どうしますか。



◆ あんぜんに どう下校するためには ど
んなことに 気をつけるか 話し合いましょ
う。

② 自分たちの すむ まちでおきた ひがいについて 先生や お家の
人に お話を聞きましょう。

③ どう下校の時に 大雪になったら どうしますか。



◆ あんぜんに どう下校するためには ど
んなことに 気をつけるか 話し合いましょ
う。

主 題 一 覧

【交通あんぜん】

主 題		指 導 の ね ら い
1	学校へ行く時、帰る時のあんぜん	道路のきまりと安全な歩行の仕方を身に付ける。
2	雨の日のみじたくと歩き方	雨の日などは、いつもより危険が多いことを知り、歩きやすい服装で安全に行動できるようにする。
3	雪の日のあんぜん	冬期間は見通しが悪い、路面が滑りやすいなどの危険が多いことを知り、安全に行動する習慣を身に付ける。
4	あぶないあそびととびだし	飛び出しの危険について知り、どんな時でも安全に行動できるようにする。
5	しんごうの見方とおうだん歩道のわたりかた	信号のある道路での安全な横断の仕方を身に付ける。
6	ふみ切りのわたり方	踏み切りでの待ち方、渡り方の基本的なことがらについて知る。

【生活あんぜん】

主 題		指 導 の ね ら い
1	学校の行き帰りのあんぜん	学校の行き帰りの危険な場所や自分たちの安全を守ってくれる場所について知る。
2	あんぜんマップって なんだろう？	学校のまわりの危険な箇所などを記入した安全マップについて知る。
3	こんな時は、どうしたらいいでしょう	身の回りの危険について知り、犯罪の被害にあわないようにするための方法を身に付ける。
4	こんな時どんな行どうを したらいいでしょう	様々な場面に応じた行動の仕方を知り、犯罪の被害から自分自身を守る方法を身に付ける。
5	もしも学校にふしんしゃが入ってきたら	校内に不審者が進入した場合の約束について知り、安全に行動できるようにする。
6	校しゃ内の きげんな場しよをさがそう	校内の危険な場所について知り、学校生活における安全な行動を身に付ける。

【さいがいあんぜん】

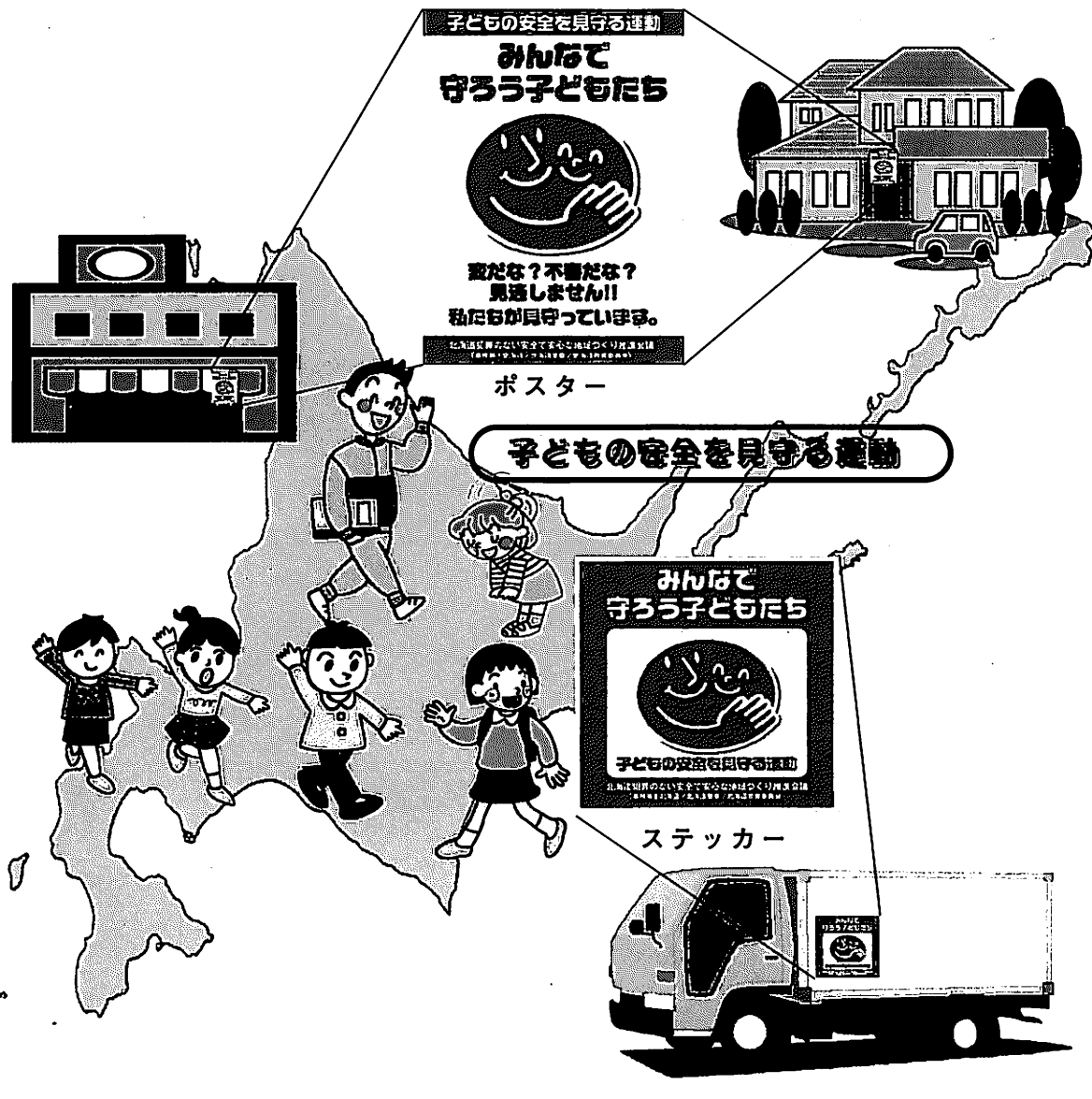
主 題		指 導 の ね ら い
1	地しんのきけんと あんぜんかくにん	地しんの時の危険について知り、安全な避難の仕方を身に付ける。
2	火山のきけんと あんぜんかくにん	火山活動による危険について知り、安全な避難の仕方を身に付ける。
3	火さいのきけんと あんぜんかくにん	火災の時の危険について知り、安全な避難の仕方を身に付ける。
4	風水がいのきけんと あんぜんかくにん	風水害などの危険について知り、風水害などの時の安全な登下校の仕方を身に付ける。

学 校 安 全 一平成22年度一 1・2年

作成協力 七 飯 町 立 鶴 野 小 学 校 校長 佐藤 一夫
 安 平 町 立 早 来 小 学 校 教諭 中島 清人
 札幌市立山鼻小学校教諭 志村 智
 江別市立対雁小学校教諭 山口 純一
 白老町立社台小学校教諭 武藤 史舟

編集・発行 北海道教育庁学校教育局参事（生徒指導・学校安全）

- あやしい人に、声をかけられたり、追いかけられた時には、このポスターをはってあるお店や会社やステッカーがはってある自動車に助けを求めましょう。



※ 北海道・北海道警察・北海道教育委員会など60団体で構成する「北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり推進会議」では児童等の安全確保を図るため、「子どもの安全を見守る運動」を実施しています。

この運動は、道内の各種施設や各種事業所等の協力をいただき、啓発ポスターを掲示するほか、事業用等の車両に「子どもの安全を見守る運動」のステッカーを掲示して、子どもたちの安全に対する大人への注意喚起を促すとともに、事件・事故を目撃したり、助けを求められた場合に、警察等への通報や一時保護に協力し、子どもの安全を図るものです。

平成22年度

「^{がっこう}学校あんぜん」

1・2年

北海道教育委員会

^{がっこう}学校

^{がくねん}学年・^{ぐみ}組

^{なまえ}名前